



富山県

No.77 2015年10月

中央植物園だより



「無題」 撮影/兼本 正

メタセコイア (ヒノキ科)

過去に絶滅したと考えられていましたが、1945年に中国で発見され、生きた化石として有名です。秋に紅葉して側枝ごと落葉します。



クリスマスフェア開催のお知らせ

今年も12月4日(金)～6日(日)にクリスマスフェアを開催します。恒例のクリスマスコンサート、リース作りのほか、今年はいタリアのクリスマス料理の食材を展示、即売、また花鉢の販売を行う予定です。



BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

第35回全国豊かな海づくり大会関連イベント「水草展」 開催レポート

7月17日(金)より9月30日(水)まで、第35回全国豊かな海づくり大会関連イベントとして「水草展」を開催しました。豊かな海の中には、魚の棲家や産卵場となる海藻の「森」が存在します。それと同様に我々が暮らす平野の河川や水路、ため池などにも生き物を育む「川の森」がみられます。しかし、「川の森」を構成する水草も開発などによって絶滅が危惧される種類が増えており、さらに外来の水草が増える問題も起きています。展示では県内に自生する水草を大型水槽に集めて紹介するとともに、地元の鵜坂小学校6年生の総合学習で作成したアクアリウムを展示しました。また、園内の池に生息するメダカやホンモロコなどの魚類もビオトープ内で水草とともに展示しました。会期の後半には開花した絶滅危惧種のみずアオイやミズトラノオも水上デッキ付近に展示しました。夏休み期間中でもあり、多くの来園者が水草の森を観賞されました。



オープニングテープカットの後、中田園長と鵜坂小学校6年生の代表による水槽展示の発表。



サンライツホール入口正面に展示した大型水槽には県内に自生する水草で「川の森」を再現。



手作りのビオトープ。水を循環させ、園内の水草や湿生植物のほかメダカなども展示。



約30鉢の絶滅危惧種みずアオイで群落を再現。

ゲッカビジン観賞 レポート

「ゲッカビジン観賞」は例年開花日の2日間実施していますが、今年は7月上旬の気温が低くつぼみの成長が遅れ、7月6日(月)～8日(水)の3日間にわたって夜間開園を実施しました。今年につぼみの数が多く、全部でおよそ800個の花が順次開花しました。開花日が事前に予想できないため、開花初日の広報だけでしたが、多くの来園者があり、ゲッカビジンの花と甘い香りを堪能されました。



ゲッカビジンの鉢の周りには、美人、モデルの撮影会のように入だかりができました。

早朝開園

ハスの花の観賞会 リポート

当初7月26日を予定していましたが、ハスの開花が早まり、6月27日(土)・28日(日)の2日間に変更して開催しました。生憎の天気にもかかわらず、朝6時の開園早々、多くの来園者がカメラやスマートフォンで開花中のハスを撮影する光景がみられました。当日は開花1日目から2日目の「小舞妃」と「友誼牡丹」などの品種を観賞することができました。



ラン温室前のハス池で、ハスの花の撮影風景

研究紹介◎『栽培が禁止されている特定外来植物の県内の現状』

園長 中田 政司

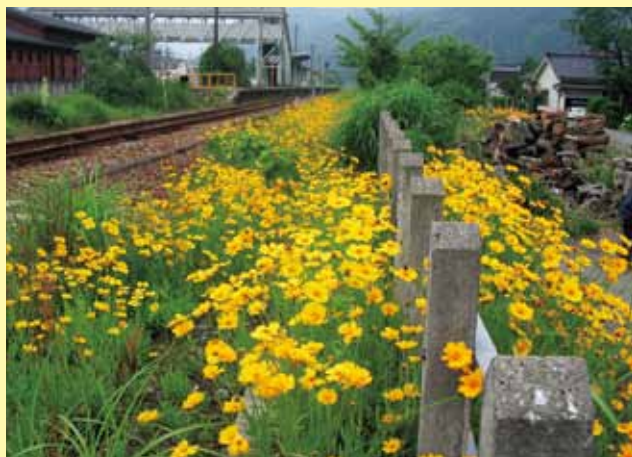
この夏の企画展「水草展」では、外来生物法によって栽培等が禁止されている特定外来種のボタンウキクサとオオカワヂシャを、環境省の許可を得て展示しました。



高岡市市野瀬川で花をつけたオオカワヂシャ

オオカワヂシャは、富山では平成9年(1997)に常願寺川で初めて確認されて以来分布を広げ、繁殖力の強さや在来種カワヂシャとの交雑が問題になっています。現在、高岡市市野瀬川では水面の半分を覆うほどのオオカワヂシャ群落がみられますが、平成13年に同地を調査した時は、バイカモや沈水生ヤナギタデ、沈水生セリが優占し、オオカワヂシャは全く見られませんでした。湧水のせいで水温が冬でも13℃と暖かいことからオオカワヂシャにとっては格好の越冬地となり、在来種の脅威となっています。

一方、陸上の種ではオオキンケイギクとオオハンゴンソウを県内でよく見かけます。



野生化したオオキンケイギク(平成21年笹津駅)

オオキンケイギクは群生すると黄金色の花が美しく、かつては広く播種・栽培されたため、禁止後も道路路面や土手などで名残がみられるほか、庭や花壇で栽培している例も見うけられます。花期は6月です。

オオハンゴンソウも園芸植物として導入されたものですが、花が豪華な八重咲き品種のハナガサギクの方を畑や庭で見かけます。ハナガサギクが栽培禁止であることは案外知られてなくて、昨年ある植物園で展示されていることが指摘されて問題になりました。花期は8月です。

オオキンケイギクやオオハンゴンソウ、ハナガサギクは、根がついた植物体や種を販売、採取、運搬、栽培すると違法になります。人にあげても、貰っても違法です。自宅敷地内に勝手に生えてきた場合、そのこと自体は問題ありませんが、水をやったり周りの雑草を抜いたりすると「栽培」とみなされます。駆除するには、種を着ける前に茎を刈り取って処分し、残った株には除草剤を散布して根から枯らしてしまうのが良いでしょう。



空き家で栽培放棄され、野生化しつつあるオオハンゴンソウ(左)とハナガサギク(右)(平成27年利賀)

植物園内のリニューアルエリアの紹介

今回は入園口前広場の花壇と花のプロムナードのフローラルステージを紹介します。

平成8年全面開園当初、入園口前広場は今のような花壇はなく芝生だけで、「植物園なのに色が無い」といわれたりもしました。今から10年ほど前に彩りのある花壇に換えることになりました。これとほぼ同時期に花のプロムナードにフローラルステージを造成しました。また、昨年から女性のスタッフに「花の形と草姿で調和のあるデザイン」を年2回考案してもらい、来園者に親しんでもらっています。



入園口前花壇。駐車場から正面に見えることや、花壇内に細園路があるので、小さな子供から大人まで楽しんでもらっています。



フローラルステージではこれまで4組の結婚式がおこなわれました。そのほか記念撮影のスポットにもなっています。

催し物のご案内

■企画展示 サンライトホール

企画展には入園料が必要です。

私の植物写真展

10月2日(金)～10月28日(水)

花と緑のコンクール入賞作品展

10月30日(金)～11月18日(水)

秋の盆栽展

11月13日(金)～11月15日(日)

第9回秋のラン展

11月21日(土)～11月23日(月・祝)

クリスマスフェア

12月4日(金)～12月6日(日)

干支にちなんだ植物

12月11日(金)～1月20日(水)

第3回新春カトレヤ展

1月8日(金)～1月11日(月)

■講座・講習会

★TOYAMA 植物フォーラム

富山県生物学会創立90周年記念シンポジウム
「ふるさとの海と森の間にすむ生き物たち」

10月17日(土)
13:00～17:00

会場 研修室

★栽培講習会

「ランの栽培と管理」

11月22日(日)・23日(月・祝)
13:30～15:00

植物園でバードウォッチング

12月6日(日)
9:00～11:00

入園料が必要です。

■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

緑のコンサート

10月3日(土)、11月7日(土)
14:00～15:00

植物ガイド

－ボランティアと歩く植物園－

第1、2、4日曜日 13:30～14:00

－園長と歩く植物園－

第3日曜日 13:30～14:00
集合場所/サンライトホール

★印は植物園ボランティアの養成講座です



富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)
(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)
休園日 毎週木曜日
(4月中とGW、お盆、祝日の場合は開園)
年未年始(12月28日～1月4日)

| | | |
|---------------------|--------------|--------|
| 入園料 | 大人(一般および大学生) | 500円 |
| | 団体料金(20名以上) | 400円 |
| | 高校生以下通年無料 | |
| 冬季入園料(12月～2月) | 大人(一般および大学生) | 300円 |
| | 団体料金(20名以上) | 240円 |
| | 高校生以下通年無料 | |
| 年間パスポート(購入日より1年間有効) | | 2,000円 |

交通案内 JR富山駅から、富山地铁バス「ファポレ」経由萩の島循環または「ファポレ」経由速星行き(休日のみ)に乗りし「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分/富山市中心部より車で約15分/北陸自動車道富山インターより車で約15分/JR速星駅より車で約8分

富山県中央植物園だより No.77

編集・発行/富山県中央植物園(指定管理者:公益財団法人 花と緑の銀行)
〒939-2713 富山市婦中町上善田42 TEL 076-466-4187 <http://www.bgtym.org/>
平成27年9月25日発行 印刷/とうざわ印刷工業株式会社